



ふるさと黒木

八女市立黒木小学校

文責 校長

令和7年10月22日

【重点目標】「自分の考え方を伝え合う子どもの育成」

令和7年度後期が始まりました

本年度の後期が始まりました。子どもたちは落ち着きのある態度で始業式に参加し、しっかり話を聞くことができました。代表の5年生が、後期のめあてをしっかり発表しました。その後、それぞれの学級でも後期のスタートにあたり、めあてづくりが行われました。教室には「発表をがんばります。」「わかりやすく説明します。」「自分からあいさつをします。」など、自分を高めようとする言葉が並んでいます。どの学年の子どもたちも、めあてをきめて、達成ができるようにがんばっていきます。

前期の終業式後に6年生から5年生への引継ぎ式が行われ、早速、始業式から5年生が準備・片付けを進んで行いました。6年生は24日修学旅行、27日振替休日なので、5年生が登校班や委員会活動など6年生に代わって役割を果たす場面もあります。リーダーシップ、そして団結力を生かして、黒木小学校のよい伝統をしっかり引き継いでいってほしいと思っています。

【9月17日(木) パラリンピック金メダリスト 杉浦佳子選手の講演会】

パラリンピック金メダリストの杉浦佳子選手に来ていただき、5・6年生にあきらめないこと、チャレンジすること、夢をもつことの大切さについてお話をいただきました。子どもたちは真剣に耳を傾け、キラキラした表情で話に聞き入っていました。講演後は、自転車や大切な金メダルを見せていただくなど、子どもたちにとっていい経験でした。ありがとうございました。



【9月23日(火) 御旗祭り】

五條家御旗祭りが行われ、昨年度に引き続き、今年も大淵地区の子どもたち13名が、「五條頬元卿の唄」を歌いました。難しい歌詞と曲ですが、子どもたちは短い練習期間で覚え、歌声を響かせました。地域の方や来賓の方も大変喜んでおり、今後も伝承してほしいという思いを伝えられました。

